



短腸症候群患者さんの

小学校 入学までの チェックリスト



このリストにあるステップは必須のものではなく、行うとよいものをまとめています。

行うものと順番は状況にあわせて検討ください。

は行う時期の目安となります。() は実施予定日をご記入ください。

ステップ
1

医療者への相談

入学の
～2年前
(年 月 日)

相談する項目

相談／調査する人

相談先



小学校についての希望や考えを伝える

保護者

主治医



入学までの治療（ストーマの対応、静脈栄養の減量など）について話し合う

保護者

メディカル
ソーシャル
ワーカー※



医療的ケアについて入学までに学校側に理解してもらいたいことなどを整理する

※メディカルソーシャルワーカー：医療機関に所属するソーシャルワーカーのことです。

memo



ステップ
2

行政への相談

※市区町村の役所などで就学相談が受けられます

入学の
2年～1年半前
(年 月 日)

相談する項目

相談／調査する人

相談先



受けられる支援について相談する

保護者

教育委員会や
地域の教育支援
センターなどの
スクールソーシャ
ルワーカー※



入学を希望する学校を伝える（学区内外の学校や私立の学校への入学の希望など）

保護者
患者さん



入学準備の進め方について相談する

保護者

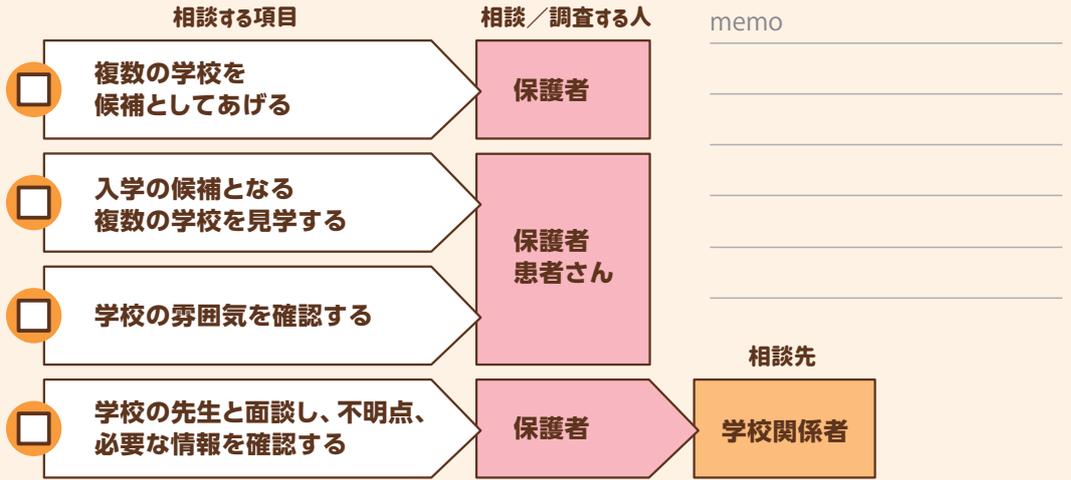
※スクールソーシャルワーカー：教育委員会や地域の教育支援センターなどに所属するソーシャルワーカーのことです。

memo



学校に関する情報収集 ※入学する学校を決定するための情報を集めます

📌 入学の
2年～1年前
(年 月 日)



- トイレに近い教室の割り当てや着替えができる部屋の確保など配慮してもらいたいことを伝え、学校側が対応可能なことを確認する
- 通学時の親の付き添いの可否を確認する
- 急な入院の際にオンライン授業が可能かなど、学校が可能な対応を確認する
- 学校看護師の配置や補助教員の配置に対する学校の方針を確認する

入学する学校の決定

memo

📌 入学の
1年前
(年 月 日)



三者面談（患者家族、学校関係者、医療者など）



保護者
患者さん

学校関係者
医療者

- ※学校関係者として、校長、担任、養護教諭などが参加することがあります
- ※医療者として、医師、看護師、メディカルソーシャルワーカーなどが参加することがあります
- ※患者さんも一緒に参加するとよいでしょう
- ※スクールソーシャルワーカーが参加してもよいでしょう

📌 入学の
1年～半年前
(年 月 日)



memo

- 医療者から患者さんの状態、短腸症候群の一般的な症状について学校関係者に説明する
- 患者さんが出来ること・出来ないことを医師、保護者それぞれの立場から学校関係者に共有し、サポートや配慮が必要な点を明確にする
- 清潔を保つための留意点を伝える（日常の手洗いやうがい、マスクの着用など）
- 参加できる年間行事や体育の授業について伝える
- 給食で配慮が必要な点を伝える
- 着替えが可能な場所を確認する

📌 入学前／入学後
(年 月 日)
(年 月 日)



memo

- 急な入院などで長期（1か月程度）欠席する際や校外学習、宿泊学習の際など、その都度必要なサポートを協議する
- 医療者の協力のもと、緊急時の対応を確認する／指示書を学校に共有する
- 周囲の子供たちに短腸症候群であることをいつ、どこまで伝えるか本人と保護者の希望を伝える
- それぞれの立場で不安に思っていることを共有し、対応を相談する